



2025年度 決算補足説明資料

2026年4月30日

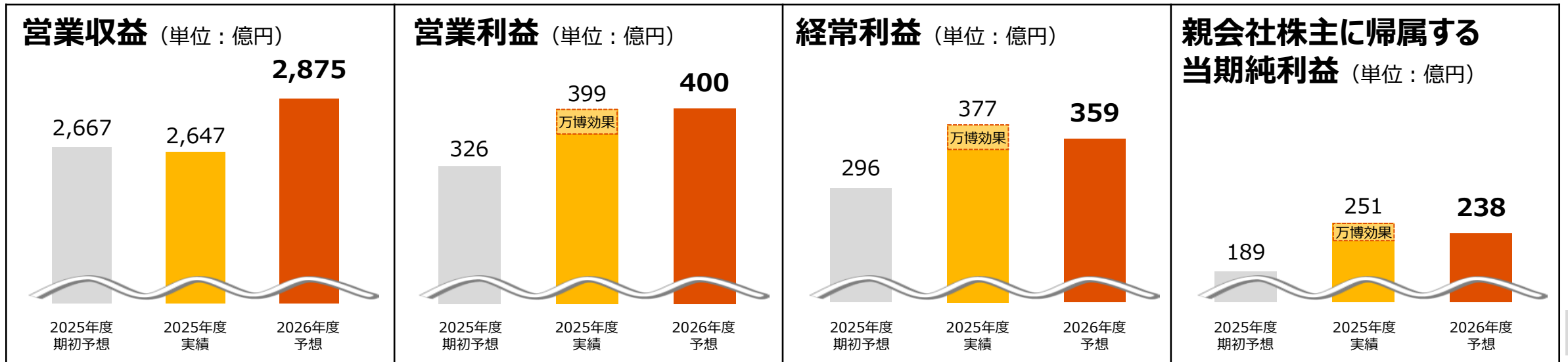
株式会社NANKAI (東証プライム市場 9044 <https://www.nankai.co.jp/>)

目次

I.	エグゼクティブサマリー	P. 2
II.	2025年度 決算概要	P. 3
	1. 業績ハイライト	P. 4
	2. セグメント別の状況	P. 6
	3. 営業外・特別損益の状況	P. 17
	4. 資産、負債及び純資産の状況	P. 18
	5. キャッシュ・フローの状況	P. 19
	6. 投資額・EBITDA（セグメント別）	P. 20
III.	2026年度 業績予想	P. 21
	1. 業績ハイライト	P. 22
	2. セグメント別の状況	P. 23
	3. 投資額・EBITDA（セグメント別）	P. 31

I. エグゼクティブサマリー

2025年度 決算	<p>営業収益：2,647億円（対前期+39億円） 営業利益：399億円（対前期+52億円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 営業収益および各段階の利益は過去最高 ● 大阪・関西万博の効果やインバウンド需要の拡大などによる運輸業での輸送人員の増加に加え、前年度に子会社化した明光バス、通天閣観光の業績が通期寄与 ● 年間配当額は50円、配当性向22.0%（対前期10円増配）、自己株式の取得120億円
2026年度 業績予想	<p>営業収益：2,875億円（対前期+227億円） 営業利益：400億円（対前期微増）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 営業収益および営業利益は過去最高を更新 ● 大阪・関西万博の反動減や日中関係悪化による影響を、鉄道事業における特急料金の見直し、不動産業における北大阪トラクターミナル7号棟や収益不動産の利益寄与等で過去最高益の更新を目指す ● 年間配当額は55円、配当性向25.0%（対前期5円増配）



Ⅱ． 2025年度 決算概要

1. 業績ハイライト①

(単位：百万円)

	2025年度 実績 (A)	2024年度 実績 (B) ※	対2024年度 実績		2025年度 予想 (2025年10月公表) (C)	対2025年度 予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
営 業 収 益	264,714	260,787	3,927	1.5%	271,400	△ 6,685	△ 2.5%
営 業 利 益	39,945	34,681	5,263	15.2%	38,500	1,445	3.8%
営 業 外 収 益	3,079	4,821	△ 1,741	△ 36.1%			
営 業 外 費 用	5,261	3,903	1,358	34.8%			
経 常 利 益	37,763	35,599	2,164	6.1%	35,900	1,863	5.2%
特 別 利 益	3,596	10,744	△ 7,148	△ 66.5%			
特 別 損 失	3,702	12,080	△ 8,377	△ 69.3%			
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	25,135	22,548	2,587	11.5%	22,600	2,535	11.2%

＜主な増減理由：対2024年度実績＞【営業収益および各段階の利益は過去最高】

- ・大阪・関西万博の効果やインバウンド需要の拡大等による運輸業での輸送人員の増加に加え、不動産業におけるマンション販売の増加や前年度に子会社化した明光バス（2024年10月）、通天閣観光（2024年12月）の通期寄与等により増収増益
- ・経常利益は、前期の特定目的会社からの配当金受領の反動減や支払利息の増加があるものの、営業増益が寄与し経常増益

＜主な増減理由：対2025年10月公表予想＞

- ・建設業において完成工事高が減少したことや、不動産販売業でのマンション販売が翌期にずれしたことなどにより減収となった一方、建設業の利益率の向上や不動産業における経費の減少等により増益

※2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。

1. 業績ハイライト②

(単位：百万円)

	2025年度 実績 (A)	2024年度 実績 (B) ※3	対2024年度 実績		2025年度 予想 (2025年10月公表) (C)	対2025年度 予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
投資額 ※1	99,105	47,241	51,863	109.8%	123,300	△ 24,194	△ 19.6%
減価償却費	28,387	28,288	99	0.4%	29,200	△ 812	△ 2.8%
E B I T D A ※2	68,672	63,235	5,436	8.6%	67,800	872	1.3%
有利子負債残高	457,450	432,950	24,500	5.7%	464,600	△ 7,149	△ 1.5%
純有利子負債残高	417,973	390,101	27,872	7.1%	442,800	△ 24,826	△ 5.6%
純有利子負債残高／ E B I T D A ※2 倍率	6.1倍	6.2倍	△ 0.1pt	－	6.5倍	△ 0.4pt	－
R O E	7.8%	7.5%	0.3pt	－	7.2%	0.6pt	－

＜主な増減理由：対2024年度実績＞

投資額 北大阪トラックターミナル7号棟の建設や収益不動産の取得、「GRAN 天空」導入等による増加

＜主な増減理由：対2025年10月公表予想＞

投資額 収益不動産取得の一部未執行等もあり減少

※1 M&Aや出資等を含む

※2 営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

※3 2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。

2. セグメントの構成状況（2026年3月末現在）

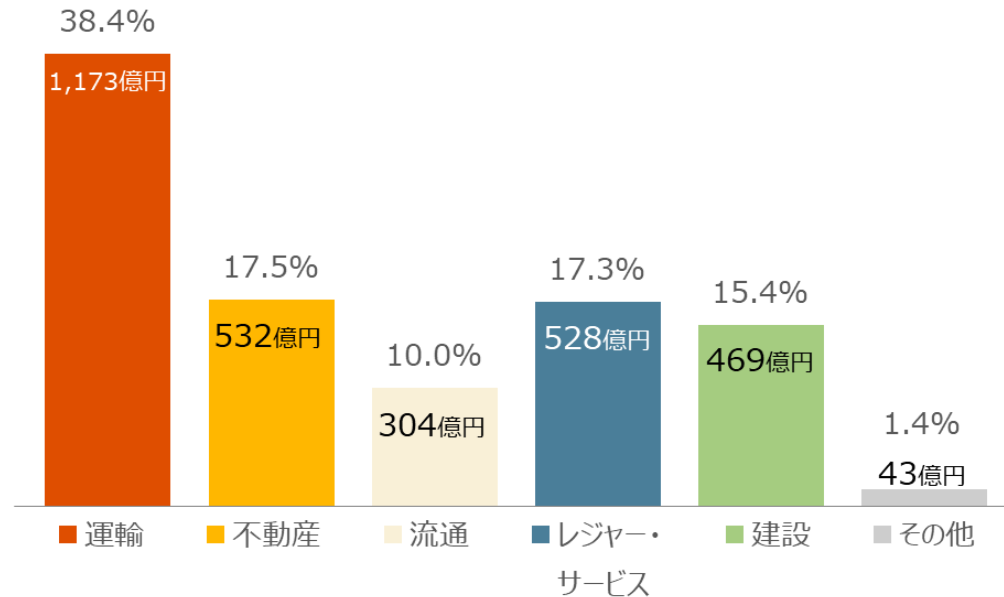
【連結子会社55社・非連結子会社19社・持分法非適用関連会社5社】

増減（対2025年3月末）：非連結子会社から連結子会社への異動 2社、連結子会社の減少 1社、非連結子会社の増加 3社、持分法非適用関連会社から非連結子会社への異動 1社

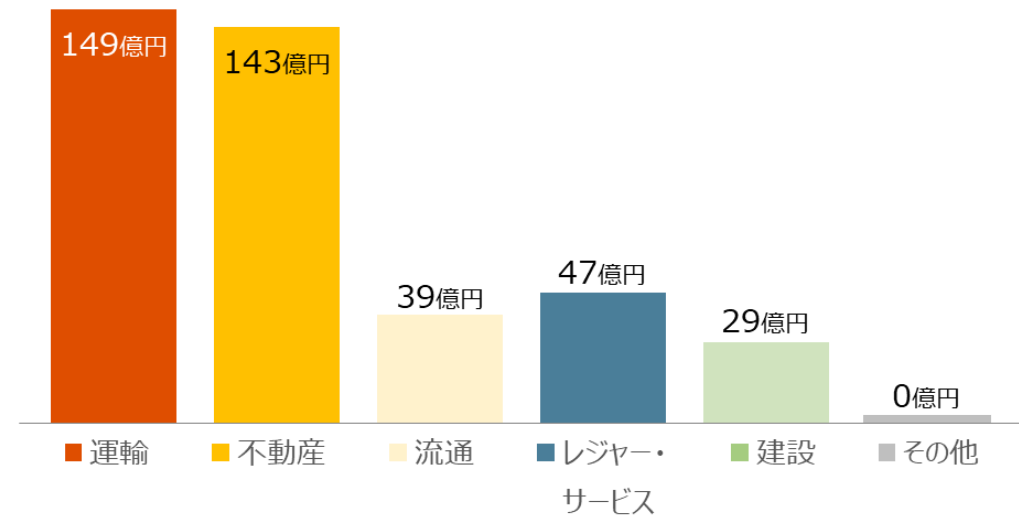


※南海電気鉄道株式会社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】



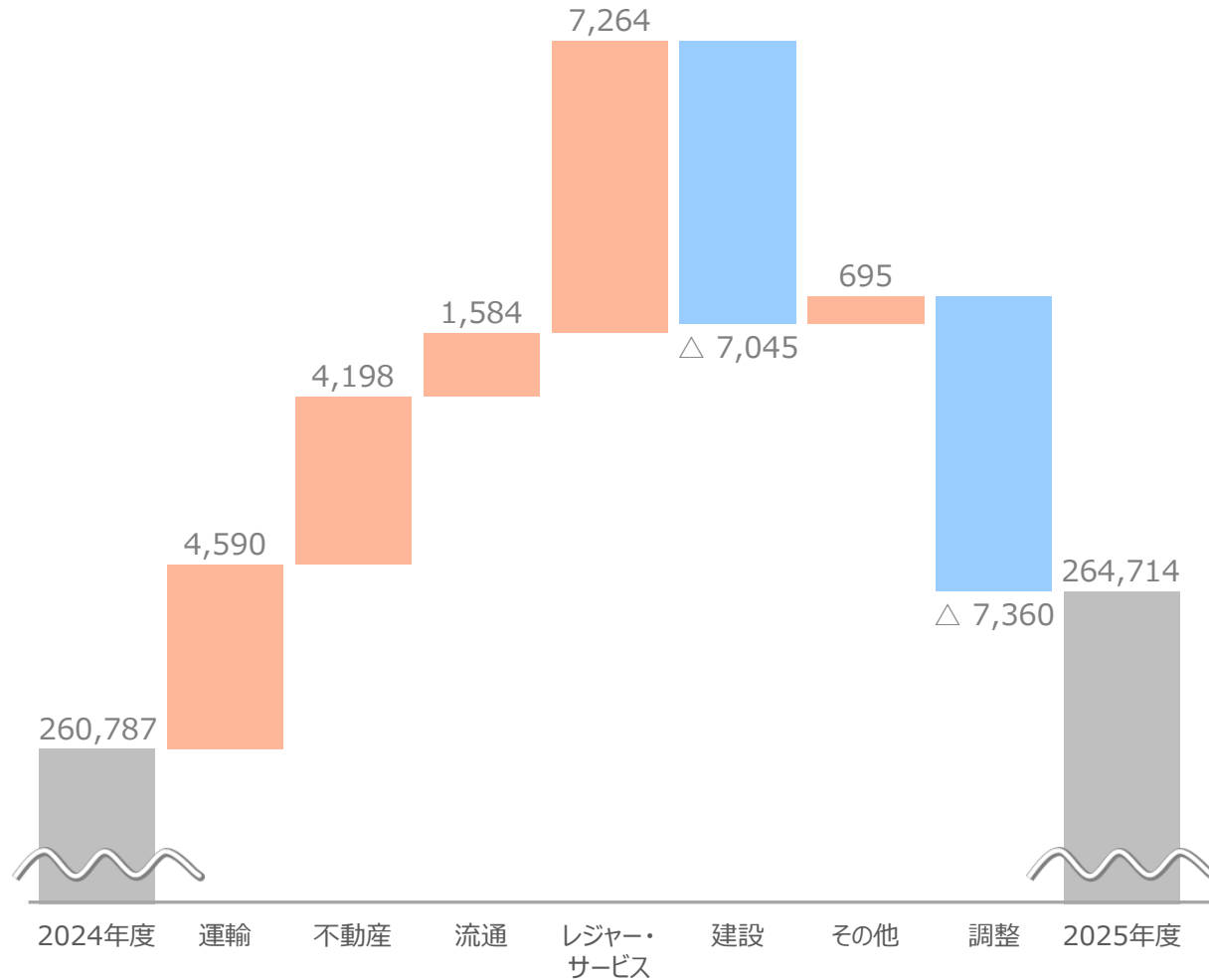
【セグメント別営業利益】



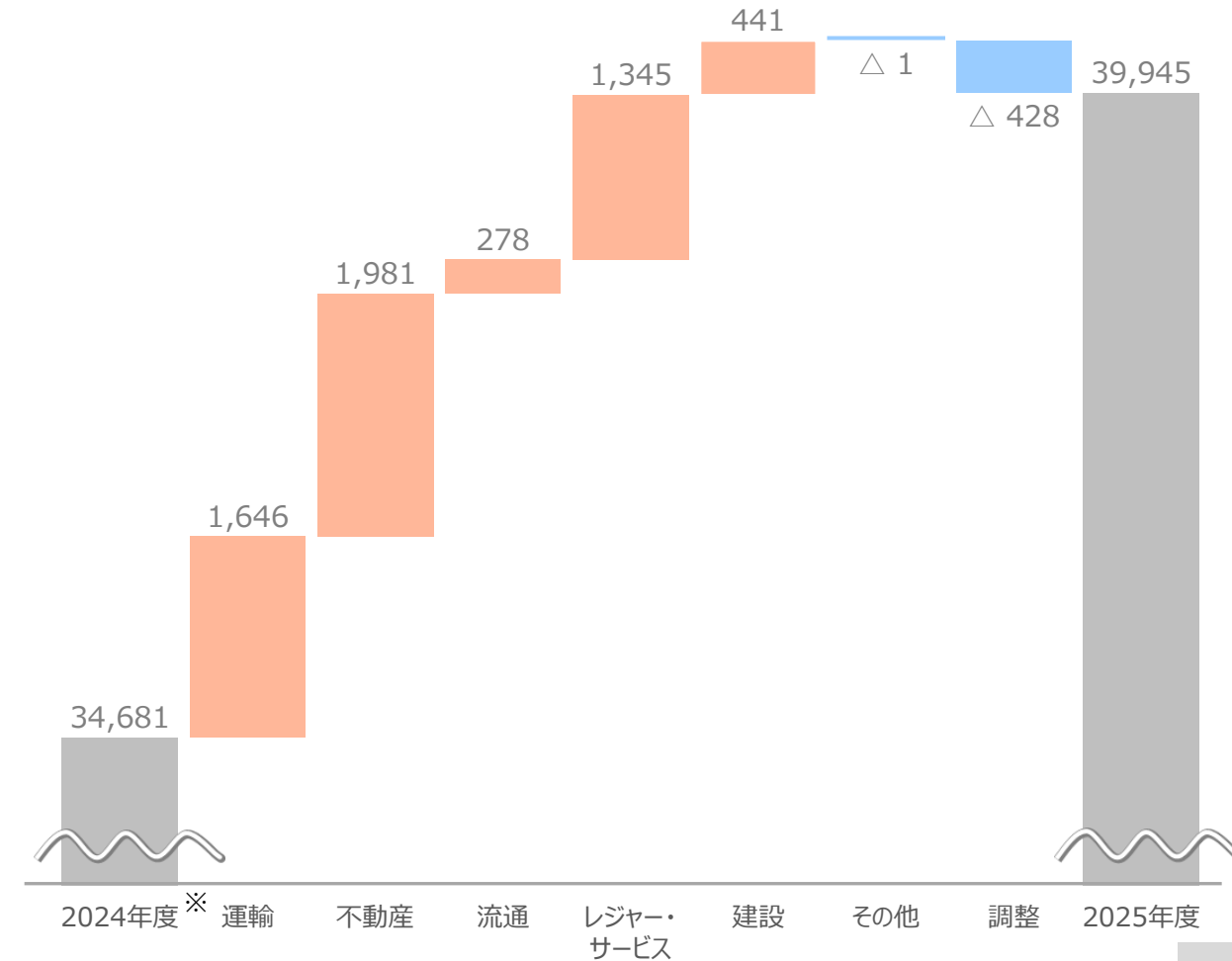
※ 構成比：セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

2. セグメント別営業収益・営業利益（対2024年度実績）

2025年度
セグメント別営業収益の増減（対2024年度実績）



2025年度
セグメント別営業利益の増減（対2024年度実績）
(単位：百万円)



※2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。

2. セグメント別営業収益・営業利益（対2024年度実績）

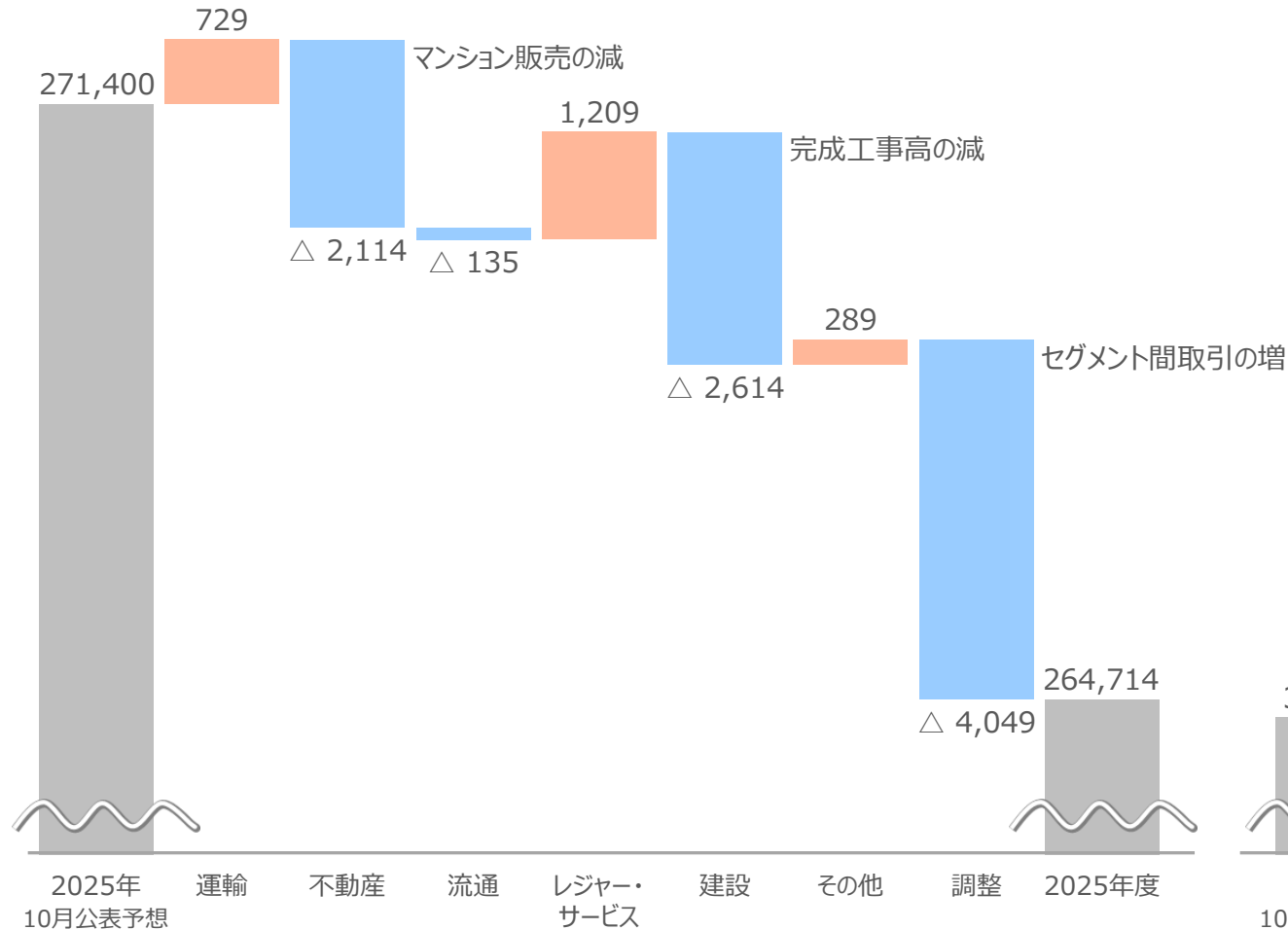
（単位：百万円）

	営 業 収 益				営 業 利 益			
	2025年度 実績	2024年度 実績	増減額	増減率	2025年度 実績	2024年度 実績※	増減額	増減率
運 輸 業	117,329	112,738	4,590	4.1%	14,908	13,261	1,646	12.4%
不 動 産 業	53,285	49,087	4,198	8.6%	14,347	12,365	1,981	16.0%
流 通 業	30,464	28,879	1,584	5.5%	3,935	3,657	278	7.6%
レジャー・ サービス業	52,809	45,545	7,264	15.9%	4,716	3,370	1,345	39.9%
建 設 業	46,985	54,030	△ 7,045	△ 13.0%	2,901	2,459	441	18.0%
その他の事業	4,389	3,694	695	18.8%	86	88	△ 1	△ 2.1%
調 整 額	△ 40,549	△ 33,188	—	—	△ 949	△ 521	—	—
合 計	264,714	260,787	3,927	1.5%	39,945	34,681	5,263	15.2%

※2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。

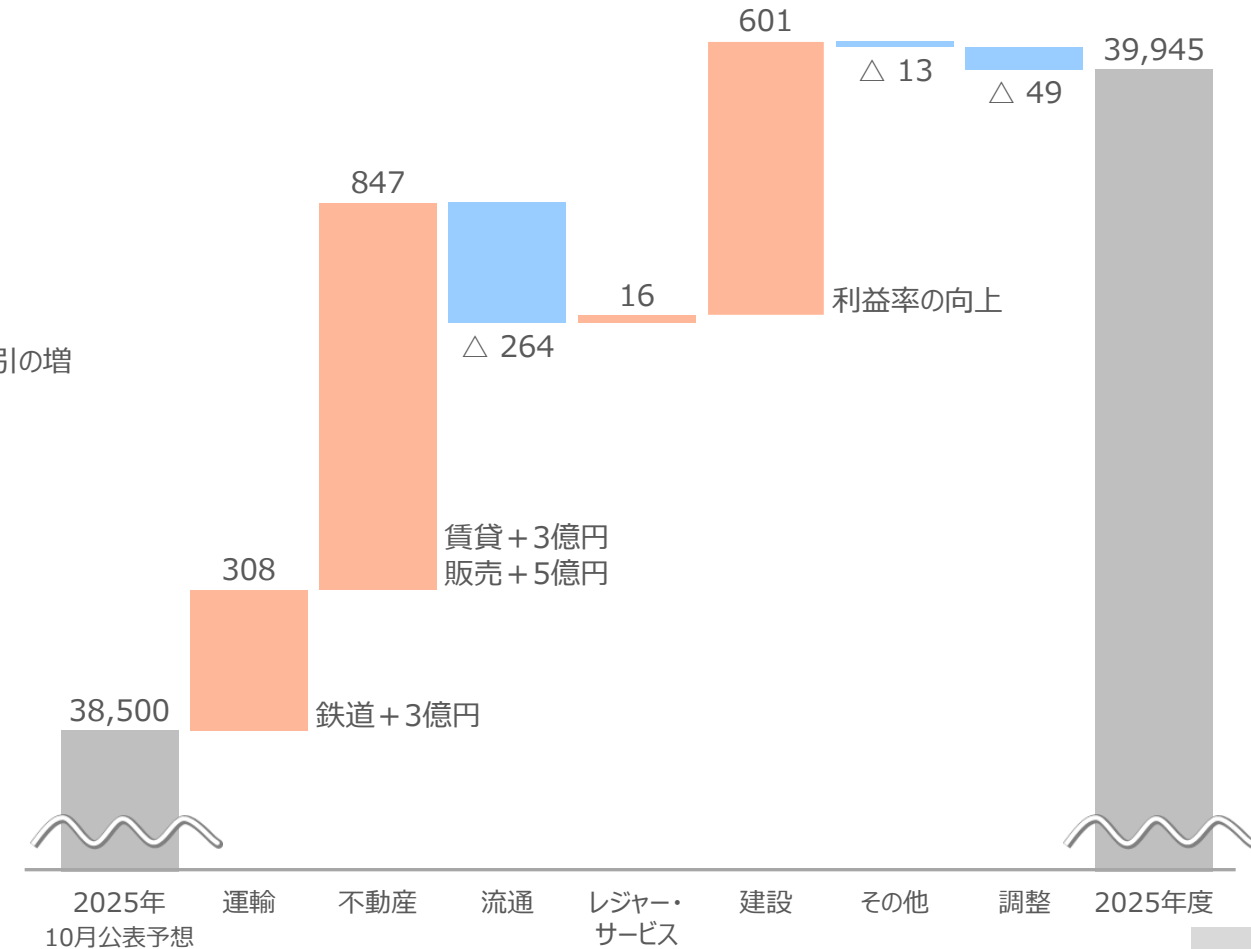
2. セグメント別営業収益・営業利益（対2025年10月公表予想）

2025年度
セグメント別営業収益の増減（対2025年10月公表予想）



2025年度
セグメント別営業利益の増減（対2025年10月公表予想）

（単位：百万円）



2. セグメント別営業収益・営業利益（対2025年10月公表予想）

（単位：百万円）

	営 業 収 益				営 業 利 益			
	2025年度 実績	2025年度 予想 (2025年10月公表)	増減額	増減率	2025年度 実績	2025年度 予想 (2025年10月公表)	増減額	増減率
運 輸 業	117,329	116,600	729	0.6%	14,908	14,600	308	2.1%
不 動 産 業	53,285	55,400	△ 2,114	△ 3.8%	14,347	13,500	847	6.3%
流 通 業	30,464	30,600	△ 135	△ 0.4%	3,935	4,200	△ 264	△ 6.3%
レジャー・ サービス業	52,809	51,600	1,209	2.3%	4,716	4,700	16	0.4%
建 設 業	46,985	49,600	△ 2,614	△ 5.3%	2,901	2,300	601	26.1%
その他の事業	4,389	4,100	289	7.1%	86	100	△ 13	△ 13.1%
調 整 額	△ 40,549	△ 36,500	—	—	△ 949	△ 900	—	—
合 計	264,714	271,400	△ 6,685	△ 2.5%	39,945	38,500	1,445	3.8%

2. セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

運輸業	2025年度 実績	2024年度 [※] 実績	増減額	増減率
営業収益	117,329	112,738	4,590	4.1%
鉄道事業	72,994	72,462	532 [※]	0.7%
バス事業	28,329	25,612	2,717	10.6%
その他の運輸業	23,252	21,892	1,359	6.2%
調整額（セグメント内）	△ 7,247	△ 7,228	—	—
営業利益	14,908	13,261	1,646	12.4%
主な内訳				
鉄道事業	10,511	10,400	110 [※]	1.1%
バス事業	4,206	3,371	834	24.8%

＜主な増減理由＞

・大阪・関西万博の効果に加えて、万博終了後もインバウンド需要が堅調に推移したこともあり、鉄道事業及びバス事業における輸送人員が増加したことや、2024年10月に子会社化した明光バスの寄与もあり増収増益
（参考：大阪・関西万博による収益影響）鉄道事業 + 10億円、バス事業 + 8 億円

※鉄道事業の2024年度数値には、南海電気鉄道と泉北高速鉄道間の取引による売上が含まれておりますが、これを除いた鉄道事業の営業収益は14億円の増収、営業利益は5 億円の増益となっております。

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表（泉北線を含む）

（単位：百万円・千人）

全線（既設線+空港線）			2025年度 実績	2024年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	45,043	43,287	1,755	4.1%
	定期	期	24,907	25,267	△ 359	△ 1.4%
	合	計	69,951	68,555	1,396	2.0%
輸送人員	定期	外	106,992	103,146	3,846	3.7%
	定期	期	139,678	137,421	2,257	1.6%
	合	計	246,670	240,567	6,103	2.5%
既設線			2025年度 実績	2024年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	31,812	30,979	832	2.7%
	定期	期	23,245	23,722	△ 476	△ 2.0%
	合	計	55,058	54,702	356	0.7%
輸送人員	定期	外	91,678	88,882	2,796	3.1%
	定期	期	134,505	132,650	1,855	1.4%
	合	計	226,183	221,532	4,651	2.1%
空港線			2025年度 実績	2024年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	13,230	12,308	922	7.5%
	定期	期	1,662	1,545	116	7.5%
	合	計	14,892	13,853	1,039	7.5%
輸送人員	定期	外	15,314	14,264	1,050	7.4%
	定期	期	5,173	4,771	402	8.4%
	合	計	20,487	19,035	1,452	7.6%

2. セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

不動産業	2025年度 実績	2024年度 実績	増減額	増減率
営業収益	53,285	49,087	4,198	8.6%
不動産賃貸業	36,900	35,116	1,783	5.1%
不動産販売業	16,517	14,151	2,366	16.7%
調整額（セグメント内）	△ 132	△ 180	—	—
営業利益	14,347	12,365	1,981	16.0%
主な内訳				
不動産賃貸業	12,514	11,976	537	4.5%
不動産販売業	1,835	387	1,447	373.2%

＜主な増減理由＞

- ・不動産賃貸業は、不動産物件への出資に伴う配当収入の増加やホテル賃貸料収入の増加等により増収増益
（参考：大阪・関西万博による収益影響）ホテル賃貸＋2億円
- ・不動産販売業は、マンション販売が増加したこと等により増収増益
（参考：マンション販売戸数）2025年度 331戸、2024年度 119戸

2. セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

流通業	2025年度 実績	2024年度 実績	増減額	増減率
営業収益	30,464	28,879	1,584	5.5%
ショッピングセンターの経営	16,027	15,591	435	2.8%
駅ビジネス事業	16,023	14,871	1,151	7.7%
その他の流通業	207	219	△ 11	△ 5.5%
調整額（セグメント内）	△ 1,794	△ 1,802	—	—
営業利益	3,935	3,657	278	7.6%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	2,020	1,977	42	2.1%
駅ビジネス事業	1,976	1,740	236	13.6%

＜主な増減理由＞

- ・ショッピングセンターの経営は、インバウンド需要の取込み等もあり売上が好調に推移し、賃貸料収入が増加したこと等により増収増益
- ・駅ビジネス事業は、コンビニエンスストアの売上が好調に推移したこと等により増収増益

2. セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

レジャー・サービス業	2025年度 実績	2024年度 実績 ※	増減額	増減率
営業収益	52,809	45,545	7,264	15.9%
ビル管理メンテナンス業	30,851	26,903	3,948	14.7%
その他のレジャー・サービス業	24,069	20,654	3,415	16.5%
調整額（セグメント内）	△ 2,112	△ 2,012	—	—
営業利益	4,716	3,370	1,345	39.9%
主な 内訳	ビル管理メンテナンス業	1,432	1,038	38.0%

＜主な増減理由＞

- ・ビル管理メンテナンス業は、設備更新等工事収入の増加や、新規受注によるビルメンテナンス収入の増加等により増収増益
- ・その他のレジャー・サービス業は、2024年12月に子会社化した通天閣観光の通期寄与や、ボートレース施設賃貸業における売上好調等により増収増益

※2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。

2. セグメント情報（建設業 / その他の事業）

（単位：百万円）

建設業	2025年度 実績	2024年度 実績	増減額	増減率
営業収益	46,985	54,030	△ 7,045	△ 13.0%
建設業	47,004	54,045	△ 7,040	△ 13.0%
調整額（セグメント内）	△ 19	△ 14	—	—
営業利益	2,901	2,459	441	18.0%

＜主な増減理由＞ 完成工事高の減少等による減収の一方、利益率の向上等により増益

（単位：百万円）

その他の事業	2025年度 実績	2024年度 実績	増減額	増減率
営業収益	4,389	3,694	695	18.8%
その他の事業	4,415	3,719	696	18.7%
調整額（セグメント内）	△ 25	△ 25	—	—
営業利益	86	88	△ 1	△ 2.1%

3. 営業外・特別損益の状況

(単位：百万円)

	2025年度 実績	2024年度 実績	増減額	摘要
営業外収益	3,079	4,821	△ 1,741	
受取利息	69	32	36	
受取配当金	1,780	3,796	△ 2,015	前期：特定目的会社からの配当金 他
雑収入	1,230	992	238	
営業外費用	5,261	3,903	1,358	
支払利息	4,149	3,232	917	
雑支出	1,112	671	440	
特別利益	3,596	10,744	△ 7,148	
工事負担金等受入額	2,597	9,548	△ 6,951	前期：高石市内連続立体交差化工事 他
補助金収入	685	336	348	
その他	313	858	△ 545	
特別損失	3,702	12,080	△ 8,377	
工事負担金等圧縮額	2,468	9,541	△ 7,073	前期：高石市内連続立体交差化工事 他
固定資産圧縮損	629	324	305	
固定資産除却損	210	1,489	△ 1,278	前期：物流施設における固定資産除却損 他
その他	394	725	△ 330	

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

		2025年度末	2024年度末	増減額	主な増減理由												
	流動資産	132,987	120,200	12,787	●流動資産 ・商品及び製品の増加 +249億円 ・受取手形、売掛金及び契約資産の減少 △103億円												
	固定資産	932,112	860,814	71,298	●固定資産 ・投資有価証券の増加 +287億円 ・建物及び構築物の増加 +250億円 ・建設仮勘定の増加 +73億円												
資 産 合 計		1,065,100	981,014	84,086	●負債 【有利子負債残高】 (単位：億円) <table><tr><td></td><td>2025年度末</td><td>2024年度末</td><td>増減額</td></tr><tr><td>有利子負債</td><td>4,574</td><td>4,329</td><td>245</td></tr><tr><td>純有利子負債</td><td>4,179</td><td>3,901</td><td>278</td></tr></table>		2025年度末	2024年度末	増減額	有利子負債	4,574	4,329	245	純有利子負債	4,179	3,901	278
	2025年度末	2024年度末	増減額														
有利子負債	4,574	4,329	245														
純有利子負債	4,179	3,901	278														
負 債 合 計		711,015	651,149	59,865													
純 資 産		354,085	329,865	24,220	・未払金増加等によるその他流動負債の増加 +273億円 ●純資産 ・親会社株主に帰属する当期純利益 +251億円 ・その他有価証券評価差額金の増加 +140億円 ・自己株式の消却 △120億円 ・剰余金の配当 △52億円												
負 債 純 資 産 合 計		1,065,100	981,014	84,086													

※2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。

5. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2025年度 実績	2024年度 実績 ※	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	47,535	43,813	3,721	<ul style="list-style-type: none"> ● 営業活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・売上債権の増減額 +196億円 ・棚卸資産の増減額 △165億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 56,825	△ 39,299	△ 17,525	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の取得による支出 △189億円 ・投資有価証券の取得による支出 △17億円 ・固定資産の売却による収入 △12億円 ・連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出 +53億円
財務活動による キャッシュ・フロー	5,976	△ 4,785	10,761	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務活動によるキャッシュ・フロー <ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債増減額 <ul style="list-style-type: none"> ○ 当期 借入金 +245億円 ○ 前期 借入金 +16億円 ・自己株式の取得による支出 △122億円
現金及び現金 同等物の期末残高	38,827	42,131	△ 3,303	

※2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。

6. 投資額・EBITDA（セグメント別）

（単位：百万円）

	投資額 ※1			EBITDA ※2		
	2025年度 実績	2024年度 実績	増減額	2025年度 実績	2024年度 実績 ※3	増減額
運 輸 業	26,761	21,361	5,399	31,400	29,668	1,731
不 動 産 業	66,024	13,188	52,835	21,823	20,006	1,816
流 通 業	2,647	1,886	761	7,841	7,627	213
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス 業	2,847	10,614	△ 7,766	6,447	4,760	1,686
建 設 業	371	186	185	3,004	2,551	452
そ の 他 の 事 業	452	3	449	101	103	△ 2
調 整 額	—	—	—	△ 1,946	△ 1,483	△ 462
合 計	99,105	47,241	51,863	68,672	63,235	5,436

※1 M&Aや出資等を含む

※2 営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

※3 2025年度第2四半期（中間期）において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年度実績の数値についても、その内容を反映しております。

Ⅲ. 2026年度 業績予想

1. 業績ハイライト

(単位：百万円)

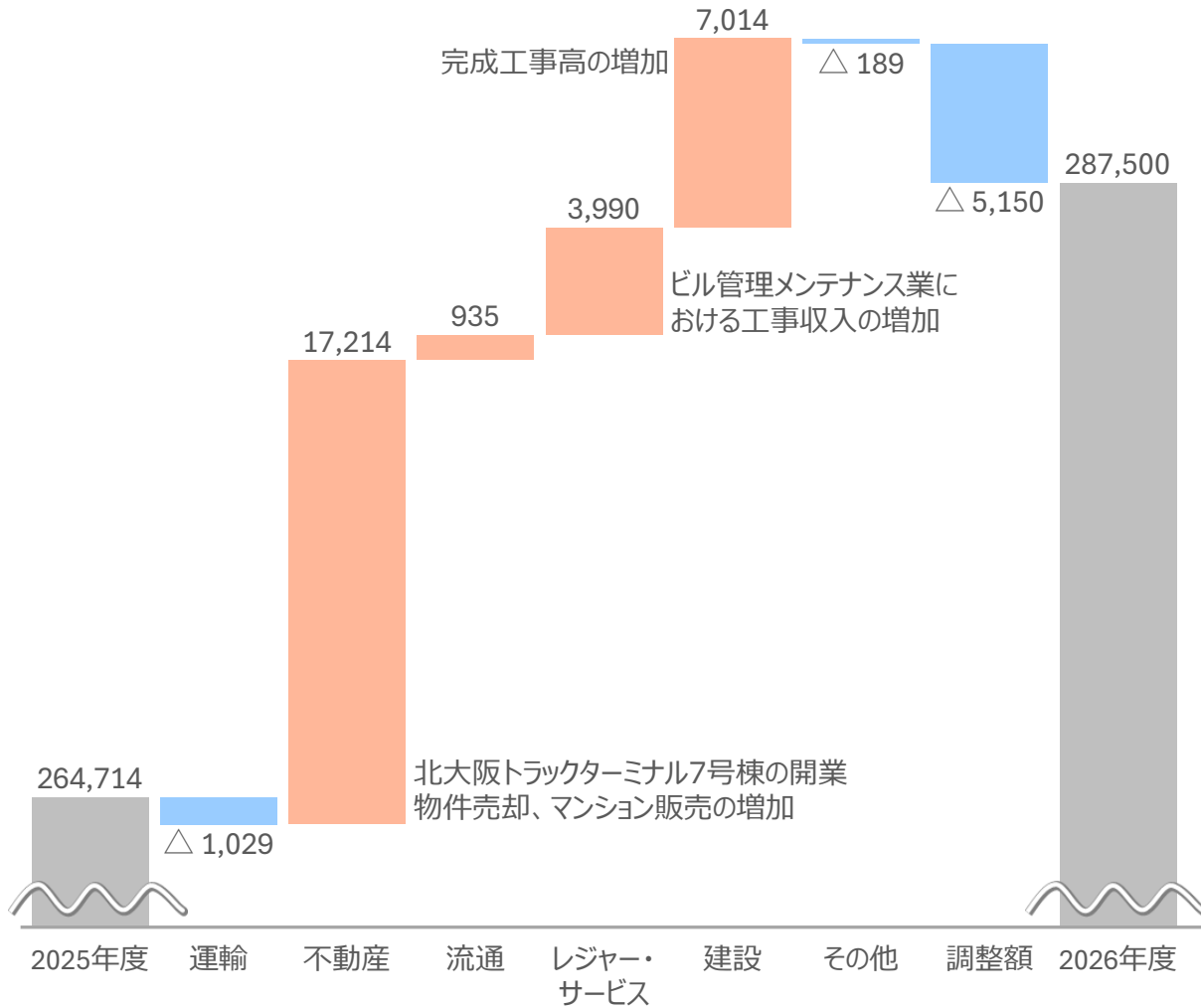
	2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	主な増減要因
営 業 収 益	287,500	264,714	22,785	<ul style="list-style-type: none"> ●営業収益 大阪・関西万博の反動減や日中関係悪化影響の一方で、特急料金の見直しや北大阪トラクターミナル7号棟の賃貸開始、物件売却収入の増加等により増収 ●営業利益 増収により増益 ●経常利益 営業増益の一方、支払利息の増加等により減益 ●投資額 北大阪トラクターミナル7号棟完成による反動減がある一方、収益不動産取得・難波周辺開発プロジェクト等の収益拡大投資や、サステナブルな事業運営に資する鉄道関連投資等により増加
営 業 利 益	40,000	39,945	54	
経 常 利 益	35,900	37,763	△ 1,863	
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	23,800	25,135	△ 1,335	
投 資 額 ※1	136,200	99,105	37,094	
減 価 償 却 費	29,700	28,387	1,312	
E B I T D A ※2	70,000	68,672	1,327	
有 利 子 負 債 残 高	541,400	457,450	83,949	
純 有 利 子 負 債 残 高	520,100	417,973	102,126	
純 有 利 子 負 債 残 高 / E B I T D A ※2 倍 率	7.4倍	6.1倍	1.3pt	
R O E	7.0%	7.8%	△ 0.8pt	

※1 M&Aや出資等を含む

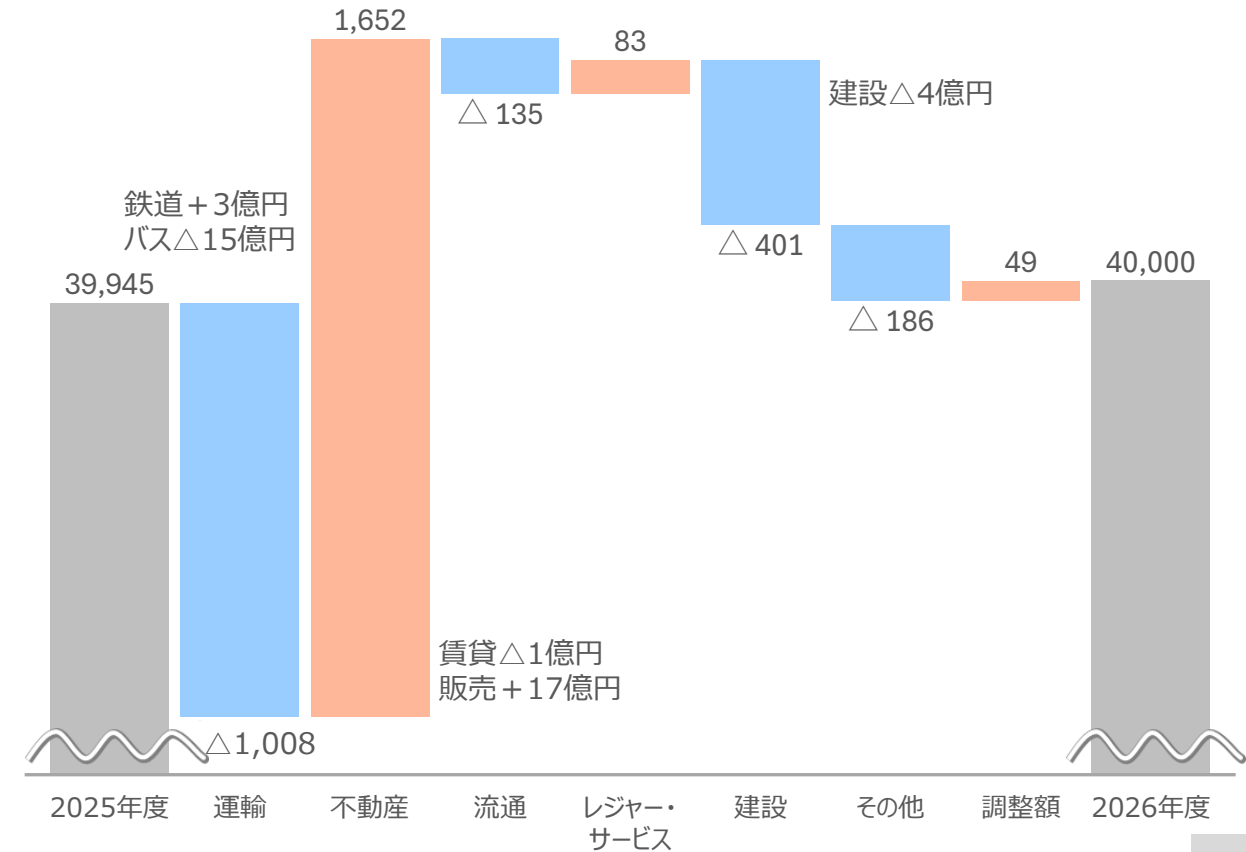
※2 営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

2. セグメント別営業収益・営業利益（対2025年度実績）

2026年度
セグメント別営業収益の増減（対2025年度実績）



2026年度
セグメント別営業利益の増減（対2025年度実績）
(単位：百万円)



2. セグメント別営業収益・営業利益（対2025年度実績）

（単位：百万円）

	営 業 収 益				営 業 利 益			
	2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	増減率	2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	増減率
運 輸 業	116,300	117,329	△ 1,029	△ 0.9%	13,900	14,908	△ 1,008	△ 6.8%
不 動 産 業	70,500	53,285	17,214	32.3%	16,000	14,347	1,652	11.5%
流 通 業	31,400	30,464	935	3.1%	3,800	3,935	△ 135	△ 3.4%
レ ジ ャ ー ・ サ ー ビ ス 業	56,800	52,809	3,990	7.6%	4,800	4,716	83	1.8%
建 設 業	54,000	46,985	7,014	14.9%	2,500	2,901	△ 401	△ 13.8%
そ の 他 の 事 業	4,200	4,389	△ 189	△ 4.3%	△ 100	86	△ 186	—
調 整 額	△ 45,700	△ 40,549	—	—	△ 900	△ 949	—	—
合 計	287,500	264,714	22,785	8.6%	40,000	39,945	54	0.1%

2. セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

運輸業		2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	増減率
営業収益		116,300	117,329	△ 1,029	△ 0.9%
主 な 内 訳	鉄道事業	73,300	72,994	305	0.4%
	バス事業	27,700	28,329	△ 629	△ 2.2%
	その他の運輸業	22,400	23,252	△ 852	△ 3.7%
	調整額（セグメント内）	△ 7,100	△ 7,247	—	—
営業利益		13,900	14,908	△ 1,008	△ 6.8%
主 な 内 訳	鉄道事業	10,900	10,511	388	3.7%
	バス事業	2,700	4,206	△ 1,506	△ 35.8%

＜主な増減理由＞

- ・鉄道事業は大阪・関西万博効果の反動減や日中関係悪化の影響を織り込む一方で、インバウンド旅客の伸びや特急料金改定等により増収・増益
- ・バス事業は大阪・関西万博効果の反動減や日中関係悪化の影響による減収に加え、人件費や車両更新に伴う減価償却費の増加により減益

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表

(単位：百万円・千人)

全線（既設線+空港線）			2026年度 予想	2025年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定	期 外	45,795	45,043	752	1.7%
	定	期	24,869	24,907	△ 38	△ 0.2%
	合	計	70,664	69,951	713	1.0%
輸送人員	定	期 外	106,834	106,992	△ 158	△ 0.1%
	定	期	139,968	139,678	290	0.2%
	合	計	246,802	246,670	132	0.1%

既設線			2026年度 予想	2025年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定	期 外	32,197	31,812	384	1.2%
	定	期	23,125	23,245	△ 119	△ 0.5%
	合	計	55,323	55,058	265	0.5%
輸送人員	定	期 外	91,807	91,678	129	0.1%
	定	期	134,510	134,505	5	0.0%
	合	計	226,317	226,183	134	0.1%

空港線			2026年度 予想	2025年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定	期 外	13,598	13,230	367	2.8%
	定	期	1,743	1,662	80	4.9%
	合	計	15,341	14,892	448	3.0%
輸送人員	定	期 外	15,027	15,314	△ 287	△ 1.9%
	定	期	5,458	5,173	285	5.5%
	合	計	20,485	20,487	△ 2	△ 0.0%

2. セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

不動産業		2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	増減率
営業収益		70,500	53,285	17,214	32.3%
	不動産賃貸業	41,400	36,900	4,499	12.2%
	不動産販売業	29,100	16,517	12,582	76.2%
	調整額（セグメント内）	△0	△ 132	—	—
営業利益		16,000	14,347	1,652	11.5%
	不動産賃貸業	12,400	12,514	△ 114	△ 0.9%
	不動産販売業	3,600	1,835	1,764	96.1%

＜主な増減理由＞

- ・不動産賃貸業は北大阪トラックターミナル7号棟の開業等により増収の一方、経費の増加等により減益
- ・不動産販売業は物件売却収入やマンション販売の増加により増収増益

2. セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

流通業	2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	増減率
営業収益	31,400	30,464	935	3.1%
ショッピングセンターの経営	17,000	16,027	972	6.1%
駅ビジネス事業	16,000	16,023	△ 23	△ 0.1%
その他の流通業	200	207	△ 7	△ 3.4%
調整額（セグメント内）	△ 1,800	△ 1,794	—	—
営業利益	3,800	3,935	△ 135	△ 3.4%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	2,000	2,020	△ 20	△ 1.0%
駅ビジネス事業	1,900	1,976	△ 76	△ 3.9%

＜主な増減理由＞

- ・ショッピングセンターの経営は、賃貸料収入の増加により増収の一方、経費の増加等により減益
- ・駅ビジネス事業は、引き続きコンビニエンスストアの好調を見込むものの、施設リニューアル費用の計上等により減益

2. セグメント情報（レジャー・サービス業）

（単位：百万円）

レジャー・サービス業		2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	増減率
営業収益		56,800	52,809	3,990	7.6%
	ビル管理メンテナンス業	33,500	30,851	2,648	8.6%
	その他のレジャー・サービス業	25,100	24,069	1,030	4.3%
	調整額（セグメント内）	△ 1,800	△ 2,112	—	—
営業利益		4,800	4,716	83	1.8%
主な 内訳	ビル管理メンテナンス業	1,800	1,432	367	25.6%

＜主な増減理由＞

・ビル管理メンテナンス業における工事収入の増加や、その他のレジャー・サービス業における通天閣観光の営業時間延長の増収施策等により増収増益

2. セグメント情報（建設業 / その他の事業）

（単位：百万円）

建設業	2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	増減率
営業収益	54,000	46,985	7,014	14.9%
建設業	54,000	47,004	6,995	14.9%
調整額（セグメント内）	△0	△19	—	—
営業利益	2,500	2,901	△401	△13.8%

＜主な増減理由＞ 完成工事高の増加の一方、工事原価の増加等により増収減益

（単位：百万円）

その他の事業	2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	増減率
営業収益	4,200	4,389	△189	△4.3%
その他の事業	4,200	4,415	△215	△4.9%
調整額（セグメント内）	△0	△25	—	—
営業利益	△100	86	△186	—

3 . 投資額・EBITDA（セグメント別）

（単位：百万円）

	投資額 ※1				EBITDA ※2		
	2026年度 予想	2025年度 実績	増減額	予想額 主な内訳	2026年度 予想	2025年度 実績	増減額
運 輸 業	47,900	26,761	21,138	<収益拡大投資 870億円> ・収益不動産取得 437億円 ・難波周辺開発プロジェクト 104億円 <安全・更新投資 510億円> ・鉄道関連工事 318億円 車両代替新造、バリアフリー工事、 車両関係設備更新工事等 ・まちづくり関連工事 76億円 なんばエリア（オフィス・SC等）、沿線施設等	29,500	31,400	△ 1,900
不 動 産 業	76,000	66,024	9,975		25,200	21,823	3,376
流 通 業	5,900	2,647	3,252		7,400	7,841	△ 441
レジャー・ サービス業	7,300	2,847	4,452		6,500	6,447	52
建 設 業	200	371	△ 171		2,600	3,004	△ 404
その他の事業	800	452	347		700	101	598
調 整 額	△ 1,900	—	—		△ 1,900	△ 1,946	—
合 計	136,200	99,105	37,094		70,000	68,672	1,327

※1 M&Aや出資等を含む

※2 営業利益＋減価償却費＋のれん償却費



【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。

株式会社NANKAI